

会 議 録	
会 議 名	平成 2 1 年度 第 4 回 丸 亀 市 行 政 評 価 委 員 会
開 催 日 時	平成 2 1 年 8 月 7 日 (金) 午前 9 : 0 0 ~ 午前 1 0 : 2 0
開 催 場 所	丸 亀 市 役 所 別 館 3 階 第 3 会 議 室
出 席 者	(出席委員) 岡 千 枝 田 中 豊 石 原 茂 河 田 博 之 長 尾 正 美 溝 淵 由 美 子 (欠席委員) 柴 田 潤 子 三 宅 耕 三 (説明のために出席した者) 企画財政部長 宮 崎 弘 俊 企画課長 大 喜 多 章 親 企画課行政改革推進室長 矢 野 律 企画課副課長 小 山 隆 史 企画課主査 村 山 智 彦
議 題	1 . 平 成 2 1 年 度 行 政 評 価 (外 部 評 価) 報 告 書 (素 案) に つ い て 2 . そ の 他
傍 聴 者	なし
発 言 者	議 事 の 概 要 及 び 発 言 の 要 旨
議 事 の 進 行 及 び 発 言 の 要 旨	・ 企画課長 (議事までの進行) 失礼いたします。只今から丸亀市行政評価委員会を開会いたします。本日はお忙しい所ご出席いただきましてありがとうございます。議事に入ります前に資料の確認をいたしたいと思います。 【資料】平成 2 1 年度丸亀市行政評価 (外部評価) 報告書 (素案) 【追加資料】老朽管、石綿管の更新について (計画と実績) 「平成 2 1 年度 第 3 回 丸 亀 市 行 政 評 価 委 員 会 会 議 録」 それでは、議事の進行については田中委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
田 中 委 員 長	それでは只今から会議を進めさせていただきます。本日の議事は次第にありますように「(1) 平成 2 1 年度行政評価 (外部評価) 報告書 (素案) について」、「(2) その他」です。 まず「(1) 平成 2 1 年度行政評価 (外部評価) 報告書 (素案) について」ですが、事務局より説明をお願いします。
企 画 課 副 課 長	《【資料】平成 2 1 年度丸亀市行政評価 (外部評価) 報告書 (素案) 》の全体の構成及び施策の進捗度評価について説明》

委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは「【資料】平成21年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書（素案）」の今事務局より説明のあった所までを一区切りとして、以降の7ページから22ページについては後ほど説明するという形にしたいと思います。</p> <p>これまでの所で何か質問はありますか。</p>
石原委員	<p>進捗度評価結果についてのコメントは最後に詳しく表現していただいておりますが、この評価結果について昨年度と今年度の違いを見てみると、41項目中8項目しか違いがありません。それ以外は昨年度と同じです。進捗ということは、昨年度と同じであれば進捗ではありません。毎年進捗することによって発展がある訳です。それで、今回A評価が多い訳ですが、何年もA評価になっているものと、CからBになりその後A評価になったものとは意味合いが違うと思います。その辺りも考えていかなければいけない問題だと思います。</p>
委員長	<p>今のご意見は文章にして表現したいとお考えですか。それとも表現としてはこのままで構わないということでしょうか。</p>
石原委員	<p>表現としてはこのままで構いません。表現の中に隠されたものがあるということです。</p>
委員長	<p>他に何かありませんか。</p>
石原委員	<p>それとここに示されている41項目ですが、これが行政の全ての施策ではないと思います。例えば、「第3セクターがどうなっているか。」「その運営についてどうなっているか。」「その運営は本当に市民にとって利益があるのかどうか。」ということもこれらの事項に含めていただければと思います。</p>
企画課副課長	<p>ここに示されている41の施策は丸亀市総合計画の体系を基にしております。</p> <p>丸亀市の行政評価の場合、この総合計画を基準に評価をすることとしておりますのでこういう形になっております。</p>
河田委員	<p>進捗度評価結果の所で、「委員の意見も踏まえ施策の進捗に努められたい。」「市民との協力関係を築いていく必要があるように思われる。」とか、最後には「手法の改善と早急な進捗を図られるよう求めるものである。」とか、この委員会で各委員から出た色々な意見をまとめてこういう文章の表現になっていると思いますが、結局、今後この報告書が市長に提出されて、その後どうなるかというのが一番大事な問題であると思います。実際にこれらの事業が予定通りに進むのかどうかというのが、我々にとって気になる所であり、問題であると思います。</p>

委員長	<p>最初の「平成21年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書の提出について」ですが、今のようなご意見もありますし、今回いくつかの点で厳しい評価にもなっていますので、そういったことを書いてもいいのではないかと思います。例えば「幅広に盛り込んだところですので、」とありますが、そこを「幅広に盛り込むこととした。そこで、今回7つの施策については1次評価と外部評価が異なる結果となったので、そういった所を中心に」とか、「そこでの色々な指摘を十分踏まえながら」とか、要するに7つもの施策が違った結果になったことを少し明示してもいいのかなという気がします。</p> <p>それとこの3ページと4ページの「進捗度評価結果一覧」の表の並びはどうでしょうか。点数があつて次に委員会によるA～Dの判定結果があつて、また次に「委員点数の分布」があつて、最後に1次評価の判定結果となっているので、双方の判定結果が分断されて分かりにくくはないでしょうか。</p>
企画課副課長	<p>委員会の「判定結果」と「委員点数の分布（人）」の項目を入れ替えて整理してみましようか。</p>
委員長	<p>もしくは、2ページで「手順1」「手順2」といったような形で示していますので、手順通りにするというのであれば、最初に「委員の点数の分布」を示して、続いて「施策の点数」、委員会の「判定結果」、その後「1次評価」といったように手順に沿って示すという方法もあると思います。</p>
企画課長	<p>この報告書の構成については再度考えてみたいと思います。</p>
委員長	<p>よろしくをお願いします。 他に何かありませんか。</p>
岡委員	<p>昨年度のA～Dの評価結果を併せて提示する必要はないでしょうか。当然、昨年度と今年度では評価方法が変わっていますので、単純に比較するのは難しいと思いますが。</p>
企画課副課長	<p>昨年は指標にまず点数を付けていったので、1次評価に近い結果になりました。今回は皆さんに事業の進捗度合いについて総合的に判断していただいたので、かなり厳しい判定結果が出ています。昨年の結果と今回のものを併記した場合、施策の進捗が単純に昨年より悪くなったと判断されるのもどうかという気がします。</p>
岡委員	<p>私たちも2年目ということで色々な知識を学びました。それで1回目に聞いたときには分からなかったことも、2回目に聞いたときには「そういえば、昨年こんなことがあった。」ということで私たち自身も少しずつ進歩していると思います。当然進歩していくことによって、評価が厳しくなっている部分もあるのかなという気</p>

	がします。
企画課副課長	確かに前年度と比較するのは大事なことだと思います。しかし、評価方法を変えていますので昨年度の評価結果を併せて提示するのはこの場合難しいと思います。
岡委員	分かりました。
委員長	他に何かありませんか。
溝淵副委員長	この報告書には全般的な意見が全然ありませんので、市の職員の方は自分の所だけを読んで終わってしまう気がします。自分の担当の所だけでなく、もっと視野を広く持って、色々な担当と連携することによって、新しい発想が生まれてくることもあると思いますので全般的な意見を入れるべきだと思います。「このページだけは全ての担当に読んでもらいたい。」という部分も必要だと思います。
委員長	それでは、今のご意見については具体的にお示しいただけますか。
副委員長	昨年の報告書でしたら最後のページに全般的な意見が掲載されておりました。これにあたるような部分が必要だと思います。
企画課副課長	昨年度の報告書の場合、「行政活動全般にわたる意見」というのと「行政評価の内容・手法等について」というので、各委員さんからのご意見を整理した形にしておりました。
委員長	昨年度の報告書の44ページのことを言われているのだと思いますが、その中で「今年度の報告書に引き続き載せるべきだ。」と思われるものを皆さんに一度示していただくことにしましょうか。それで「その他全般にわたる意見・提言等」というのも必要に応じて載せるようにすればよいと思います。今回が2年目ということですので、「昨年度の我々の報告書をしっかり見つつ今年度のも見て欲しい。」という部分もあると思います。「昨年度の報告書から引き続いて作業を行っているのですよ。」というのを何かもう少し表現できればと思います。
副委員長	私は、昨年度の報告書に書いたことで今年度できていないことがたくさんあったように思いますが、今年度それをまたあえて書いていないものもあります。
委員長	確かにそういうのはあると思います。
企画課長	本質的には単年度ごとの評価になりますが、同じ事業については、単年度でありながら昨年度から引き続き見ていただくといったものもあるかと思います。そし

	<p>て、そのことについては今年度の評価の中に書いていただくという作業になると思います。また、2年目という表現について今年度の報告書に記載するのであれば、例えば最後の所に項目を作って載せる方法とか、あるいは文章としてまとめる方法とかがあろうかと思います。</p>
長尾委員	<p>資料をたくさん付けると逆に分からなくなると思います。今年度の報告書の本文の所に、「今年度の評価結果と併せて前年度の評価結果も参考にしてください。」という文章を加えた方がいいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>文章で表現した方がいいのかもしれませんが、ただ、副委員長が先程言われていた昨年度の報告書の44ページにあたる部分はどうしましょうか。これは改めて取り上げた方がよろしいでしょうか。</p>
石原委員	<p>先程から言われていることかもしれませんが、毎年「予定通り進捗している。」では駄目だと思います。41の施策の中には、昨年度と比べて「事業が終了した。」というものがあってもいいと思います。また、進捗していない事業については、一旦その事業を白紙に戻して、もう一度新たに計画を立て直して、進捗度合いを見ていくという手法も必要だと思います。</p>
委員長	<p>他に何かありませんか。</p>
	<p>《意見なし》</p>
委員長	<p>それでは、いただいた意見についてはまた事務局の方で検討していただきたいと思います。</p> <p>続きまして、資料の7ページから22ページについて事務局より説明をお願いいたします。</p>
企画課副課長	<p>《【資料】平成21年度丸亀市行政評価（外部評価）報告書（素案）」の7ページから22ページ及び「【追加資料】老朽管、石綿管の更新について（計画と実績）」に基づき説明》</p>
委員長	<p>ありがとうございました。そしたら、まず施策番号11の「上水道の整備」についてご意見があればお願いします。</p> <p>この施策については「施策に関する意見等」の所でかなり厳しいことを書かれています。只今の事務局の説明では「必ずしもそうではなく計画通りに進捗している。」というご指摘でした。</p> <p>実はこの2番目の意見は私が出したものですが、只今の事務局の説明ですと石綿管の方は平成23年度に完了する予定ですし、老朽管の方も計画通りには進んでいるということですので、「進んでいないのではないか。」という意見は少し変更したいと思います。</p>

	<p>1 番目は「全体的には目標に向かって進んでいると思われる。」というご意見ですので、むしろ正しく見通しておられたということで問題ないと思います。</p> <p>3 番目のご意見はどうでしょうか。</p>
長尾委員	<p>3 番目の意見は私が出したのですが、この追加資料の表を見てみると進捗の度合がよく分かりました。また、1 次評価も外部評価も A となっていますので、しかるべき表現に直したいと思います。</p>
企画課副課長	<p>市の計画としては確かに予定通り進んでいますが、老朽管の整備が平成 23 年度で 3 千 m 程残ることとか、耐震化や湯水の課題は水道事業全体として依然抱えている問題ですので、その辺りを意見として残されてはどうかと思います。</p>
委員長	<p>水道事業は元々の施設は 100% できている訳ですから、今事務局が言ったような部分を何とかしなければならぬ時期に来ていると思います。ですから私は少し意見の書き直しをしたいと思いますし、長尾委員の意見も踏まえ、事務局の方で訂正していただきたいと思います。</p>
企画課副課長	<p>分かりました。</p>
委員長	<p>それでは、「上水道の整備」に関してはこの辺りにして、それ以外で何かご意見があればお願いします。</p>
溝渕委員	<p>市民との協働の所でありよりよい評価になっていないので関係すると思いますが、7 月 17 日の行政評価委員会のときの資料「別紙 12 協働事業の実施状況」の所に、「公募型協働事業」と「協働促進事業」の 2 つの表がありましたが、市としては協働についてはこの 2 種類と考えているのですか。</p>
企画課副課長	<p>大きく分けるとこの 2 種類と考えております。市民から提案いただくのが「公募型協働事業」で、市の方から積極的に提案していくのが「協働促進事業」という位置付けをしております。</p>
副委員長	<p>協働というのはそれだけしかないのですか。</p>
企画課副課長	<p>いいえ、そうではありません。協働のあり方については色々あると思いますが、それを推進する上で双方からのアプローチとして、2 つの事業を設けています。</p>
副委員長	<p>この問題は、「市民参加の住民自治という自治基本条例を作っている丸亀市」「市民が主役のまちづくり」ということで出てきた部分もあると思います。</p> <p>例えば、私は図書館のボランティアを以前からしています。丸亀市の図書館とい</p>

	<p>うのは駅前であって、「丸亀市は図書館をととても大事にしている。」ということで、相応の投資もし、予算も付けているということで全国的にも評価が高かったと思います。ところが行政改革プランの中で図書費が半減になって、講演会の費用がなくなった時期がありました。また同じ時期に「子どもの読書は、国全体で推進していこう。」という「子ども読書活動推進計画」というのができて、丸亀市では実施計画も作りました。そういう時期に予算が削減された訳です。「これだけのことをこれから頑張ってやっていこう。」と明記しているのに予算がなくなって、私たちは「子どもが大好きな本と出会う読書の秋に読書講演会をなくす訳にはいかない。」ということで、手弁当で資金も全部こちらが出して読書講演会を開催したことがあります。そのときは図書館の方も協力してくれて、まさに協働だった訳で、そういう例もあります。</p> <p>ですから、やはり丸亀市として投資すべきものについてはきちんと予算立てしてほしいと思います。人によっては「この読書講演会を協働事業で出してみれば。」という人もいました。しかし「元々予算があって、丸亀市として子どもの読書のためにこれだけのことをやってきたのに、その予算がなくなったからといって、それを協働事業に出すというのはおかしいのではないですか。」と私は話したことがあります。</p> <p>丸亀市のまちづくりの指針がどこにあるのか、核となる部分をしっかりと持って、それには投資を惜しまないということを理念として持っていただけたらと思います。</p>
委員長	<p>只今のご意見は、最後の全般的な部分か、あるいは図書館の所で書いていただけたらいいのではないのでしょうか。</p> <p>他にありませんか。</p>
河田委員	<p>今言われた意見は、「市の役割が何なのか」「市民や市民活動団体の役割が何なのか」を分けて考えていかなければいけない問題だと思います。何でも協働を推進していけばいいものでもないと思います。今の丸亀市は、行政が責任を持って、その上で市民や市民活動団体からの協力がどの部分で得られるのかという所の判断が不十分ではないかと思います。</p> <p>私が意見を出させていただいている飯山図書館についても、明らかに中央図書館より利用者が多いにもかかわらず、図書数は3分の1程度しかありませんし、職員も臨時職員と派遣職員だけで管理・運営しています。これでは市民サービスの低下にもつながると思います。やはりこういった教育施設は市が責任を持って管理・運営するといった考え方を持ってほしいと思います。そういった部分は子育てにもつながりますし、住みたくなるまちづくりにもつながっていくと思います。</p>
委員長	<p>他に何かありませんか。</p> <p>《意見なし》</p>

委員長	それでは、今各委員からいただいたご指摘は事務局の方で整理してもらおうとして、事務局に今後の段取り等を説明願います。
企画課副課長	委員皆様のご協力のおかげで8月中には報告書を作成できる段階にきているのかなという気がします。それで次の委員会を最後にできればと考えていますが、8月31日(月)午後2時からでどうでしょうか。もしその日程で設定できるのであれば、しばらく期間がありますので、進捗状況の所や上水道の意見、そしてそれ以外の細かい部分も修正ができると思います。そういった修正がもしあれば、8月21日(金)までに事務局の方に連絡いただけたらと思います。それで、次の委員会の段階では報告書(案)ということで、皆さんの意見がまとまった形にしておきたいと思っていますのでよろしくお願いします。
委員長	報告書(案)については、事務局の方で8月24日の週の比較的早い時期に作成してもらって、各委員に事前に配布していただけますか。
企画課副課長	分かりました。
委員長	それでは、只今事務局から提案のありました件について何かご意見はありますか。 《意見なし》
委員長	そしたら、次回の委員会は8月31日(月)午後2時からということにしたいと思います。 それから「(2)その他」ですが、事務局の方で何かありましたらお願いします。
企画課副課長	「平成21年度 第3回 丸亀市行政評価委員会 会議録」ですが、確認していただいて、何かありましたら報告書の意見と同様に8月21日までに事務局まで連絡をお願いしたいと思います。
委員長	他に何かありませんか。
副委員長	今回、私たちの任期はこれで終わると思いますが、この報告書を出した後それがどうなったかというのはどこで分かるのでしょうか。
企画課副課長	報告書提出後に集まっていたくということはないかもしれませんが、今回いただいたご意見については、その後の市の対応状況等を整理し、いずれかの時点で、郵送か何かで報告させていただきたいと思います。
河田委員	我々の任期は来年の6月までです。それで次回の8月31日が最後の委員会ということですが、それ以降委員会を開催する予定はないのですか。

企画課副課長	今の所、予定はありません。
河田委員	慣れた頃に辞めるようになる訳ですね。
委員長	流れとすると、次の行政評価委員の方がそのことを引き継いでいくようになると思います。つまり、今回の報告書が平成21年度の行政評価ということで、平成20年度の事業内容を評価していて、それが予算にどのように反映されてその後どうなったかというのは、平成21年度の取り組みを見る方が併せて見ていくようになると思います。 他に何かありませんか。
河田委員	私は市町村合併してから色々な委員会に積極的に参加させていただいたのですが、委員会を開催する場所は本庁でなければいけないのでしょうか。例えば飯山市民総合センターとか綾歌市民総合センターとかではいけないのでしょうか。時には場所を変えてみるのも一つの方法かなと思います。
企画課長	私どもは、委員会の開催についての日時や場所とかは「一番集まりやすい所で」と考えております。交通手段等のこともありますので、それはこの委員会の中で話し合っていて、委員の方々が一番出席しやすい形で決めていただければと思います。
河田委員	問題はないということでしょうか。
企画課長	合併当初はワークショップ等で飯山市民総合センターや綾歌町の栗熊コミュニティセンターを使ったこともありますので問題はないと思います
岡委員	私は、他の委員会で飯山市民総合センターにおじゃましたことがあります。
河田委員	合併前の丸亀市の方々に飯山町や綾歌町のことを見て知っていただくというのも非常に大事な事かなと思います。会場に行く道中でも色々なことが見えてくると思いますので、今後、市の方で委員会を開催するときには、そういったことも考慮してもらえば、また今までとは違った形の委員会が開催できる気がしますのでよろしくをお願いします。
委員長	他に何かありますか。 《意見なし》 それでは、以上を持ちまして本日の委員会を終了したいと思います。皆様お疲れ様でした。